

NPO法人 サンレジデンス 第3期

通期総括

1. 第3期（平成28年10月～29年9月）入居・退去者数

	入居者	退去者
上半期	8名（男6、女2）	7名（男7）
下半期	7名（男7）	13名（男9、女4）
通年計	15名（男13、女2）	20名（男16、女4）

2. サンレジデンス入居者・男性・女性・世帯入居内訳（平成29年9月30日現在）

・男性入居者 76名 女性入居者 11名 世帯での入居 3世帯

3. 入居者の生活状況について（平成29年9月30日現在）

・生活保護（100%）で生活 60名 ・年金で生活 4名
・半就労・半福祉で生活 15名 ・就労収入で自立生活 11名
・就労収入にて自立、他物件に転居 1名

4. 総括

- ・精神疾患（主に統合失調症）を抱える人に対する対応の難しさを、改めて痛感した年度となった。主治医からの指導で、グループホームや実家の近くに転居する等、退去者が相次いだ。入居してから症状が出てくることもあるため、協力機関との連携を更に充実させると共に、素早い対応が必要となってくる。
- ・入居者の稼働状況は、前年度と同じく、全体のおよそ30%弱となっている。しかしながら、派遣会社の協力もあり、比較的新しい入居者の就職率は上がっている。このことから分かるように、いかに就労意欲が薄れないうちに就職に繋げるかが重要である。
- ・スタッフの不正行為に関しては、サンレジデンス全体の責任として捉え、入居者への信頼を損なわない活動を行うために、今一度意識改革を行うべきである。

NPO法人 サンレジデンス

松下 和広

NPO法人 サンレジデンス 第3期

上半期 活動報告

1. 月別の入居・退去者について

	入居者数	退去者数
10月	1名（男性1名）	1名（男性1名）
11月	3名（男性2名、女性1名）	2名（男性2名）
12月	0名	0名
1月	1名（男性1名）	1名（男性1名）
2月	0名	2名（男性2名）
3月	3名（男性2名、女性1名）	1名（男性1名）
計	8名（男性6名、女性2名）	7名（男性7名）

※平成29年3月末現在 入居者 95名

2. 退去者の内訳について

- ・失踪 3名
- ・家賃滞納 1名
- ・長期入院 1名
- ・他物件に転居 2名

3. 入居者の紹介ルートについて

- ・当事者より直接相談 2名（40代男性1名、60代男性1名）
- ・NPO法人 ベトサダ 2名（50代男性2名）
- ・札幌市相談支援センター
（JOIN れおん含む） 1名（40代女性1名）
- ・北広島市役所 1名（20代男性1名）
- ・㈱アパートナー 小野氏 1名（20代男性1名）
- ・女性サポート アジール 1名（30代女性1名）

4. 他団体との連携・協力について

- ・派遣会社の「㈱スカイネット」からは、サンレジデンスに入居中で、就労可能な者に対しての仕事斡旋の協力をしたいとの申し出があった。

- ・不動産の「e a」からは、自立後、部屋を移りたいが保証人がいなくて困っているという入居者に対しての受け皿として利用して欲しいとの申し出があった。すでに1名、引越し先を見つけてもらっている。

5. 年度事業計画における重点設定事項に対する成果と課題

① 会費等回収額の100%集金

- ・第2期下半期から引き続き、家賃滞納者に対する自立支援事業所としての断固たる態度を示すことを継続している。
- ・そのため、今上半期の退去者の内、失踪・家賃滞納を合わせた4名はいずれも家賃滞納者であった。自立する意思がない者に対しては、どんなに手厚い支援も無駄であるため、これは致し方ないことであると考えている。

② 就業支援の強化

- ・南郷5の2名の男性入居者について、空室の清掃作業や、新規入居者が決まった場合の家具什器の搬入等、アルバイトとして現在稼働中。今後はA型就労支援で技術を身につけ、一般就労を目指す。
- ・前述した「㈱スカイネット」の紹介により、東区に住んでいる入居者2名が、商品仕分け工場で現在稼働中。

③ 社会に対する活動アピール

- ・前期より、ホームページからの相談や問い合わせが増えている。
- ・新たな協力団体、企業に対して、サンレジデンスとしての社会貢献の中身をより知ってもらうため、正確な活動内容を説明する義務も生じていることを忘れてはならない。
- ・連携機関が増えるのは喜ばしいことであるが、相手側とサンレジデンスの双方にとって有益なものでなければ意味が無いので、誠実に、より慎重により関係を構築していくことが大切と考える。

④ 個別ニーズに対する対応強化

- ・行政を含む協力機関、団体、企業が増えたのに伴い、入居者のニーズに対する対応は、以前に比べて少しずつではあるが精度が上がってきている。

- ・特に障害者手帳（精神、身体）を持っている入居者に対しての、訪問診療、デイケアサービス等の繋ぎに関しては、格段にスピードアップした。

⑤ 法人運営、継続、資金の確保

- ・医療法人社団「響」より、賛助会員入会の申し込みがあり、協力金 10 万円、月額会費 2 万円（毎月）の寄付金を受けた。
- ・その他、個人からも 2 名の寄付金を受けた。いずれも、サンレジデンスとしてはじめての外部からの寄付であった。

⑥ 運営の基本心得、努力目標

- ・寄付金の受領に際して、お礼状の送付や、サンレジデンスの活動内容が分かるもの（サン通信）を定期的に郵送する等、一定のルールを構築した。
- ・前期からの課題であったスタッフ間の情報共有の希薄さを解消するため、最低でも週 2 回、正規スタッフが集まり、ミーティングを行うこととした。逐次、議事録を代表理事に送付している。

⑦ レクリエーション

- ・平成 28 年 10 月 7 日、入所者との交流の場として、第 4 回 SUN パークゴルフ大会を実施した。（参加者 14 名）

以上

作成日 平成 29 年 5 月 4 日
NPO 法人 サンレジデンス
松下 和広

NPO法人 サンレジデンス 第3期

下半期 活動報告

1. 月別の入居・退去者について

	入居者数	退去者数
4月	2名（男性2名）	3名（男性2名、女性1名）
5月	1名（男性1名）	1名（男性1名）
6月	1名（男性1名）	4名（男性2名、女性2名）
7月	0名	2名（男性2名）
8月	3名（男性3名）	2名（男性1名、女性1名）
9月	0名	1名（男性1名）
計	7名（男性7名）	13名（男性9名、女性4名）

※平成29年9月末現在 入居者 90名

2. 退去者の内訳について

- ・失踪 2名
- ・家賃滞納 1名
- ・死去による 1名
- ・他物件に転居 5名（内1名は完全自立による）
- ・他団体へ 2名
- ・生保不正受給により強制退去 1名
- ・精神疾患の影響により、医師の指示で実家へ 1名

3. 入居者の紹介ルートについて

- ・ホームページより直接相談 3名（30代男性2名、40代男性1名）
- ・医療法人社団「響」 1名（70代男性2名）
- ・手稲「れおん」 2名（20代男性1名、30代男性1名）
- ・岩見沢「りんく」 1名（60代男性1名）

4. 他団体との連携・協力について

- ・医療法人社団「響」を通じて行っている在宅診療に加えて、新たに歯科治療、また理髪のサービスを受けられる体制が出来た。
- ・アップルハウス北23条V、サクシーズ中の島のガス会社をアポロ販売に変更した。

6月26日、紹介料としてアポロ販売より69万円が入金された。

5. 年度事業計画における重点設定事項に対する成果と課題

① 会費等回収額の100%集金

- ・家賃滞納者に対しては、支援団体として断固たる態度を示すことを継続してきたことによって、失踪による滞納を除き、払う意思のない入居者は現在ではない。
- ・以前からの課題だが、就労しながら生活保護（半就労・半福祉）を受けている入居者が、給与の見込み金額申告の甘さから、一時期無収入状態になることがあり、家賃の支払いが1ヶ月、あるいは2ヶ月遅れるケースが相変わらず発生している。就労者に対してはスタッフとの定期的な面談を増やす必要あり。

② 就業支援の強化

- ・若い年齢層の入居者を中心に、下半期では7名の就職（パソコン関係、飲食店、コンビニ、警備会社）が決まった。内1名は9月に生活保護を廃止し、自立生活に移行している。
- ・上半期より引き続き、「欄スカイネット」より定期的に仕事斡旋情報をいただき、一般就労可能な入居者へ情報提供を行っている。

③ 社会に対する活動アピール

- ・ホームページからの問い合わせが、当事者だけでなく、道外の市町村役場からも寄せられるようになった。直近では宮城県大崎市役所からの相談依頼があり、40代男性を10月に受け入れる予定。
- ・札幌地下歩行空間の企業・団体アピールコーナーに、サンレジデンスのパンフレットを置かせてもらうことを、現在札幌市と調整中。市民にサンレジデンスの存在を知って頂くのはもちろん、困っている当事者に直接訴えかける機会にもなると思われる。
- ・「社会を明るくする運動」への取り組み継続。

④ 個別ニーズに対する対応強化

- ・南郷5の入居者を中心に、障害者手帳を持っている入居者のニーズに対する対応は確実に精度が上がっている。今後も協力・連携団体とのコミュニケーションを大切にして行く。
- ・その一方で、前述したとおり一般入居者への目配りが足りない部分があるのも事実である。スタッフ減少もありなかなか難しい問題ではあるが、入居者がスタッフに相談しやすい環境作りが重要。

⑤ 法人運営、継続、資金の確保

- ・医療法人社団「響」、㈱アパートナーの照井 淳矢氏より、毎月一定額の寄付金を受けている。
- ・札幌市内で飲食店を営む佐々木 恵子氏より、6月、寄贈品（タオル等）の提供を受けた。

⑥ 運営の基本心得、努力目標

- ・9月、サクシーズ中の島を担当していたスタッフの不正行為が発覚し、解雇とした。また手口が悪質であったため、札幌北警察署に刑事告発し、受理された。
- ・そのため、現在は職員が2名という異常事態になっている。今のままでは、相談者の受け入れも覚つかない状況である。
- ・早急にスタッフの補充が必要だが、どうしても金銭の授受が発生する職務のため、人選にはより慎重にならざるを得ない。
- ・集金、入金業務に関して、新たなルールを構築すべく、工夫していく。

⑦ レクリエーション

- ・平成29年6月19日（金）、アパートナー札幌支店30周年記念行事の一環として、「明るい社会 第5回SUNパークゴルフ大会」を実施した。全国のアパートナー支店からご参加いただき、総勢38名での大会となった。
場所 札幌さとらんどパークゴルフ場
- ・第6回大会は平成29年10月14日（土）に予定している。

以上

作成日 平成29年10月5日
NPO法人 サンレジデンス
松下 和広